#### ■概要

BooT.oneテンプレート以外で作成したモデルにおいては、材料・壁関連のツールが正しく起動しない場合があります。 ツールを起動した際に表示されるエラーメッセージや現象について、各参照先にて対応方法を記載します。

[材料 登録]ツール	参照先
・警告『一般モデル_材料表をライブラリからロードしてプロジェクトに配置してください』が出る	А
[材料記号 編集]ツール	参照先
・メッセージ『以下のいずれかの製図ビューが存在しません。…B_材料記号_壁…』が出る	В
[材料記号 設定]ツール	参照先
・メッセージ『材料 定義を配置してください』が出る	В
[両面壁]ツール	参照先
・ツールダイアログのプルダウンメニューに何も表示されない	B•C
・メッセージ『材料が設定されていない部分が存在します』が出る	
・壁符号タグに情報が反映されず、空欄になる	D
[片面壁]ツール	参照先
・エラー『オブジェクト参照がオブジェクトインスタンスに設定されていません』が出る	D
・ツールダイアログのプルダウンメニューに何も表示されない	В
[壁符号 壁+方向]ツール	参照先
・エラー『予め、必要な壁符号をロードしてください』が出る	С
・壁符号を配置する場所がクリックできず、ツールが実行できない	B•D
↑※[両面壁]ツールで作成した壁に対して使用するツールのため、[両面壁]ツールの起動が必要	
[壁符号 検証]ツール	参照先
・エラー『予め、全ての壁タグをロードしてください』が出る	С
・エラー『バラメータが見つかりませんでした…』が出る	D
※[両面壁]ツールで作成した壁に対して使用するツールのため、[両面壁]ツールの起動が必要	B·C·D
	参照先
- メッセージ105 壁凡例、A05_壁凡例、A05 壁凡例 のいすれかか存在しません』か出る	E
	<b>公</b> 四4-
1生形空 編集]ツール	参照先 
・エフー』「生能壁の図形かないにめ」イントを実行でさませんでした』が出る	F
・タイアロクか起動し(も、性能壁か表示されない	
・ツールタイアロクのノルタワンメニューに何も表示されない	B
・[回回壁]ツールの[性能壁のみ表示]にナエックを入れても、性能壁が表示されない	B•C
↑※性能壁は[両面壁]ツールで配直するため、[両面壁]ツールの起動条件か必要	
	42 177 4L
[[壁仕禄 史新]ツール	参照先

	シネル
・メッセージ『「-」のマテリアルが見つかりませんでした』が出る	В
・エラー『シーケンスに要素が含まれていません』が出る	
※性能壁を配置してから使用するツールのため、[両面壁][性能壁 編集]ツールの起動条件が必要	B∙C∙F



#### ■補足

・参照先の対応A~Fが、BooT.oneテンプレート以外でツールを起動させる場合の起動条件になります。

・前述の現象の対応は、[B\_性能壁リスト.rvt]を編集する際も同様です。

([B\_性能壁リスト.rvt]とは、[B.建築]タブ → [壁]パネル → [設定▼] → [性能壁参照]ツールを起動して開くモデルです)



※ 上記の方法は、次ページにもあります[テンプレート更新]ツールでも対応は可能ですが、[テンプレート更新]ツールの 場合はコピーされるマテリアルが限定される現象があるため、上記のクリップボードコピーの方法を推奨します。

# 条件:製図ビュー [B\_材料記号\_壁]がプロジェクトデータ内に必要

#### ●対応方法

В

BooT.oneテンプレートを使用したプロジェクトデータから製図ビュー[B\_材料記号\_壁]をコピーします。

- 1.) [B.共通]タブ → [メンテナンス]パネル → [テンプレート更新]ツールを起動する
- 2.) BooT.oneのテンプレートを指定し、製図ビュー[B\_材料記号\_壁]にチェックを入れ、[実行]をクリックする

テンプレートとな	なるファイルを選択	C:¥Program Files¥toBIM¥BooT.one 20XX¥Template 「たあるBooT.oneのテンプレートを指定(20XXはRevitバージョン) テンプレート名:B_ARCHITECTURE_STRUCTURE.rte	×
ーテンプレートと	なるファイルを選択		ENGINE I
C:¥Program	Files¥toBIM¥BooTione	3 2022¥Template¥B_ARCHITECTURE_STRUCTURE.rte	
検索			
Pa - 60 ₪	10回 1世計主 Such	コージリービュ ニカイゴービュ ニテンプリュート・コノリカー フテリアリー プロジェカレ性語 単位	
<u>P</u>			1
		建築/# A_1/F東田/十回図	_
	■ B_サムイイル: 建築/語		
	8_テンプレートに双計)検歴		
	8_マイフロバティ用設定		
	₿開始ビュー:建築≫	設定用>製図ビュー   製図ビュー[B_材料記号_壁]にチェックを入れる	
	B_材料記号_床:建新		
	B_材料記号_天井:發	建築>設定用>製図ビュー	
	B_材料記号_壁:建築	築>設定用>製図ビュー	_
	B_材料表_凡例定義:	: 建築>設定用>製図ビュー	_
	B_防水・断熱・ガラス:	: 建築>設定用>製図ビュー	_
	S_作業用 1階:構造	i>* S_作業用>構造伏図	-
	S_作業用 2階:構造	i <sup>&gt;*</sup> S_作業用>構造伏図 「実行]をクリック	
	S_作業用_3D:構造>	>* S_作業用>3D ビュー	<b>_</b>
	──般事項:建築>A2	12.建具>製図ビュー	$\checkmark$
🗌 上書きする	\$	全てクリア 設定書出 設定取込 実行 キャン	セル

#### 3.) 完了ダイアログを[OK]で閉じる



※ 壁だけでなく、床や天井の材料も設定する場合は、製図ビュー[B\_材料記号\_床][B\_材料記号\_天井]も コピーしておきます。

BooT.one

#### C 条件:壁符号のタグが必要

●対応方法

ツール起動条件である、壁符号のファミリをロードします。

- [B.共通]タブ → [フォルダ]パネル → [ファミリ▼] → [ファミリカタログ]ツールを起動する
- 2.) 下記の2つのファミリをロードする



※ 断面ビューで[両面壁]ツール・[壁符号 壁+方向]ツールを使う場合は、下記のファミリも必要となります。
 B\_タグ\_壁\_壁符号\_断面用\_外側.rfa
 B\_タグ\_壁\_壁符号\_断面用\_内側.rfa

条件:Bo	oT.oneのプロジェクトパ	ラメータが必要		
达方法				
ooT.oneテンプ	パレートを使用したプロジェクト	データからプロジェクト	、パラメータを転送します	- •
) BooT.one <sup>:</sup>	テンプレートの新規プロジェクト	を作成する		
)エラーが発生	Eしたプロジェクトに戻る			
) [管理]タブ	→ [設定]パネル → [プロジュ	ェクト標準を転送]ツ·	ールを起動し、	
BooT.one	テンプレートを使用したプロジェ	クトデータから[プロジ	ジェクトパラメータ]にチェッ	ックを入れ、[OK]をクリックする
わキャスト 設 プロジェクト パう 情報 サ	備 挿入 注釈 解析 マス 副 プロジェクト パラメータ 一 ジータ 退 共有 パラメータ 「ズ ービス 6個 グローバル パラメータ 電	& 外構         コラボレート           プロジェクト標準を 転送            未使用の項目を削除            プロジェクトで 使う単位	表示 管理 管	
	設定			
プロジェクト標準	 <sup>[]</sup> を転送		×	
コピーする項[	目を選択			
コピー元:	プロジェクト1	$\sim$		
□フィルタ □フェーズ設う □フレキシブノ □フレキシブノ □ブラウザ構 □ブラウザ構	定 レダクト レ配管タイプ 成 パラメータ	<ul> <li>すべてき</li> <li>チェック</li> </ul>	Fェック( <u>A</u> ) 解释除( <u>N</u> )	
フロジェクト           フロジェクト           マテリアル           レート解析           レベル タイ           上部手す!           傾斜グレー	7 10 / / / / 情報 つ設定 ブ )のタイプ -ジング タイプ	~		
<		>	ャンセル(C)	
プロジェクに見	で転送できる要素について			

## E 条件:凡例ビュー[A05\_壁凡例]が必要

#### ●対応方法

ツール起動条件である、[A05\_壁凡例]という名前の凡例ビューを作成します。

- 1.) [表示]タブ → [作成]パネル → [凡例▼] → [凡例]ツールを起動する
- 2.) ダイアログにて以下の通りに設定し、凡例ビューを作成する。

# ビュー名 → A05\_壁凡例

$\chi \mathcal{F} = \mathcal{V} \rightarrow \mathbf{I} : 20$		
新しい凡例ビュー		×
名前:	A05_壁凡例	
スケール:	1:20	~
スケールの値 1:	20	
	OK	キャンセル

•	内に住能型のパラビューが必要
讨応方法	
プロジェクトデータに性能壁を登録	<b>します。</b>
1.) [表示]タブ → [作成]パネル	, → [凡例▼] → [凡例]ツールを起動する
2.) ダイアログにて以下の通りに設 ビュータ → Δ05 時凡例	と定し、凡例ビューを作成する。
スケール → <b>1 : 20</b>	
	名前: A05_壁凡例
	OK キャンセル
3)「B 建筑1/5ブ→「辟1パカリ	
4.) 任意の性能壁をコピーし、2.	)にて作成した凡例ビューに貼り付ける
≫貼り付け後の性能辟のプロ	
※知り内の後の住宅主のりし	]ジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールヘルプをご参照くださ( 
○ AD5 壁凡例 × 日子: ポジージャール125	]ジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールヘルプをご参照ください 
※ XL1 クトリット 20 の L H2 エリットレーン 10 0 0 1 L H2 エリットレーン 10 0 0 1 L H2 エリットレーン 10 0 1 L H2	]ジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールヘルプをご参照ください X2 <sup>  打分: 取火 73-/k12C-G</sup> (GW 150/24kg/m3) 
★ XL19113012007上日と主のクレー       Imm     Aos_壁凡例 ×       X1     I時間影火: FP050NP-0420(1)       LGS65     一提賞GB t9.5       一提賞CGB t12.5	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールヘルプをご参照ください <sup>737: 取/?7-/k12C:G</sup> <sup>13時電扱: FP060NP-0415(2)</sup> <sup>23</sup> (GW 150/24kg/m3) 「GW CB t12.5 <b>凡例ビューに貼り付け後の状態</b>
★ ALI-5-15/0712(05)1上目と主(05)と       ■     Ao5_壁凡例 ×       1時間駅火: FP060NP-0420(1)     >       LGS65     硬質GB t9.5       強能(CB t12.5)	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルプをご参照ください          X2       打新職状: P060/№ 0415(2) 遭省低部:TLD52       (GW 150/24kg/m3)         LGS65       LGS65         強化GB t12.5       凡例ビューに貼り付け後の状態
	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルプをご参照ください          X2       「打幅戦火: P060/IP-0415(2) 造留性能-TLD52       (GW 150/24kg/m3)         LGS65       強化GB t12.5         強化GB t12.5       現代GB t12.5         強化GB t12.5       強化GB t12.5
ACS_壁凡例 × 和SS_壁凡例 ×	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルプをご参照ください          X2       「打時間状: P060/IP-0415(2) 置自性胞:TLD52       (GW t50/24kg/m3)         LGS65       強化GB t12.5         強化GB t12.5       現代GB t12.5         強化GB t12.5       強化GB t12.5         強化GB t12.5       (F級幅75mm)
★ ALI J 13 V 12 O J L 18 ± 0 J L       Image: Align and the second secon	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルプをご参照ください          X2       「打デ 副火ワール12-G 」時間観火: FP060NP-0415(2) 置着性語:TLDS2       (GW 150/24kg/m3)         LGS65       「単化GB t12.5 一単化GB t12.5 」       凡例ビューに貼り付け後の状態         「強化GB t12.5 」       (子鳥幅75mm)
<ul> <li>(知力)「ひ夜の)」「旧主主のクロ</li> <li>(新日)「ひ夜の)」「日日主のクロ</li> <li>(新日)「ひっつ」」「25</li> <li>(新日)「ジョークール125</li> <li>(新日)「ジョークール125</li> <li>(第15)「「ジョークール125</li> <li>(第15)「「「秋代の)」「25</li> <li>(第15)「「秋代の)」「1000000000000000000000000000000000000</li></ul>	コジェクトデータでの編集作業につきましては、 [両面壁]ツールのツールヘルプをご参照ください x2 「打開職火: PP660P-0415(2) 達自住語・TLD52 (GW 150/24kg/m3) しGS 65 逆化 CB t12.5 逆化 CB t12.5 逆化 CB t12.5 使化 CB t12.5 (子鳥幅75mm) 注意録されると、 [両面壁]ツールダイアログに [性能壁のみ表示]チェックボックスが表示される プルダウンメニューには性能壁タイプのみが表示されるようになる
<ul> <li>(株式) 「10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1</li></ul>	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルプをご参照ください          x2       打切職状: P060/P-0415(2) 理智性部:TLD52       (GW 150/24kg/m3)         LGS65       一         W       一         W       WECB t12.5 W 150/24kg         (F)       WCB t12.5 W 150/24kg         (F)       (F)
※ 第日うけり後のり上記主のクレー         ● Aos_壁凡例 ×         ● 「打号: サラーフォール125         」時間割火: FP060NP-0420(1)         ● 「「「「」」」         ● 「」」         ●	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルプをご参照ください          X2       「打部職状: PPOGONP-0415(2) 置留低部: TLD52 (GW 150/24kg/m3)
Aos 壁凡例 ×         「ゴ <sup>3</sup> f <sup>3</sup> f <sup>2</sup> t <sup>3</sup> t <sup>3</sup> f <sup>2</sup> r <sup>3</sup> t <sup>3</sup> f <sup>2</sup> f <sup>2</sup> f <sup>2</sup> t <sup>3</sup> f <sup>2</sup>	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルブをご参照ください          X2       197: 割K27-1/12C:6 (W 150/24kg/m3)         LGS65       健化GB t12.5 (W 150/24kg         W1 50/24kg       (F 局幅25 mm)         空話録されると、[両面壁]ツールダイアログに[性能壁のみ表示]チェックボックスが表示される プルダウンメニューには性能壁タイプのみが表示されるようになる         マ       0         アンガブまで       符号         マ       0         マ       0         ロ       内と同じ         マ       0         ロ       内と同じ         マ       0         ロ       ロ         ロ
X 1 397: 475-74-74125         Y1 137: 475-75-74         Y1 137: 475-75         Y2 137: 475-75         Y2 137: 475-75         Y2 14         Y2 14         Y2 14         Y2 15: 41         Y2 14	コジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルプをご参照ください          X2       「打照照状: FP060HP-415(2) 選問提示D52         (GW 150/24kg/m3)       ・         「GS 55       一         (GW 150/24kg/m3)       ・         「強化CB t12.5       ・         (GW 150/24kg       ・         (F 無幅75mm)       ・         ご登録されると、[両面壁]ツールダイアログに[性能壁のみ表示]チェックボックスが表示される プルダウンメニューには性能壁タイプのみが表示されるようになる         (F 無幅75mm)       ・         19.5+強化GB t12.5       ・         (F 無幅75mm)       ・         (F 無幅75mm)       ・         ご登録されると、[両面壁]ツールダイアログに[性能壁のみ表示]チェックボックスが表示される プルダウンメニューには性能壁タイプのみが表示されるようになる         (F 無幅75mm)       ・         (9.5+強化GB t12.5+LGS65+強1 ×       109         (9.5+強化GB t12.5+LGS65+強1 ×       109
※ 第日うけりで後の日日日主ビリクビー	3ジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールヘルプをご参照ください x2 「ジェ INOP-INIZOG 1時間が: FPOGNIPO415(2) またいD32 (GW 150/24kg/m3) 「GS 655 単化CB t12.5 単化CB t12.5+LGS 65+強1 v 0 v 77 109 v 77 まで 日符号 v 性能壁のみ表示 109 v 77 まで 日符号 v 性能壁のみ表示 109 v 77 まで 日符号 v 性能壁のみ表示 105+強化CB t12.5+LGS 65+強1 v 109 v 77 まで 日符号 v 性能壁のみ表示 105+強化CB t12.5+LGS 65+強1 v 0 v 75 109 v 77 まで 日符号 v 性能壁のみ表示 109 v 77 まで 日符号 v 性能壁のみ表示 100 v 77 なる 100 v 77 100 v 77 なる 100 v 77 100
※ 第日ウバマ 役の「上市と主のウレー         Aos 壁凡例 ×         「オジ: サブラーフォート125 」は同間ド: FP060NP-0420(1)         「レロジロジロジロジェクトデータに チェックを入れると、構造体のご         チェックを入れると、構造体のご         「仕上 下地         「大加 硬質GB         「大加 受知 したい」         「日本 日本         「大加 中国         「「「「「「」」」         「「」」         「「」」         「」」         「「」」         「」」         「」」         「「」」」         「「」」」         「「」」」         「」」         「」」         「」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」」         「」」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」」         「」」」」         「」」」」」         「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	1ジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールヘルブをご参照ください x2 <sup>737</sup> 副化CB 112.5 「単化CB 112.5 「単化CB 112.5 「単化CB 112.5 」 (平易幅75mm) 注意 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
※ 第日ウバウ 役 の ) 上 旧 主 ( の ) 上         Aos 壁凡例 ×         「1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1ジェクトデータでの編集作業につきましては、[両面壁]ツールのツールへルブをご参照ください x2 j###:5000P-04527) #8648:11552 (W 150/24kg W 150/24kg (#毎6875mm) P.例ビューに貼り付け後の状態 P.例ビューに貼り付け後の状態 P.のビューに比り付け後の状態 **********************************